

今回は、高等部の2学期の行事の様子と、3学期実施予定の卒業時移行支援会議について、紹介します。

岡山公共職業安定所主催 職場見学



昨年度に続き、今年度も本校が岡山公共職業安定所が主催する職場見学の指定校になり、10月24日(火)に職場見学を実施しました。この行事は、高等部2年生で、将来的に一般就労(就労継続支援A型事業所への就労を含む)を志望している生徒が産業現場を見学することにより、雇用について理解し、就労についての動機付けや職業自立に対する意欲を高めることを目的としたものです。今回の見学先は「平林金属株式会社 リサイクルファーム御津」「就労継続支援A型事業所 たからさがし(平林金属グループ事業所)」「株式会社すまいるエブリィ(特例子会社)」の3箇所でした。3箇所とも、現在も卒業生が就労している職場であり、各職場の事業内容の説明とともに卒業生が担当する業務内容についても見たり聞いたりすることができました。また、すまいるエブリィでは卒業生から直接仕事の様子ややりがい、大変なこと等のお話を聞く場面もあり、より身近なこととして感じることでできる機会となりました。



平林金属株式会社



たからさがし



すまいるエブリィ

ジョブマッチング～特別支援学校生徒のためのジョブフェア～

本年度も支援学校高等部生徒向けのジョブフェアは、各校での開催となりました。本校では、10月31日(火) 10:00～11:00 に青山商事株式会社井原商品センター 細川孝志センター長より「就労へ向けて必要な力」について講義をしていただきました。青山商事商品センターでは、現在100名(内、井原43名)の障害のある方が1日に7～8時間勤務をしているそうです。岡山には700店舗から発注が来るため、例えば入荷業務のピッキング作業では1人4,000～5,000ピックが1日の作業量で、他のどの業務も基本は立って仕事をするというお話に、「やはり体力がいるー!」と感想を述べる生徒もいました。また、就労に向けて「自分の強み・弱み」を知ることや、「報告・連絡・相談」「挨拶・返事・自己管理」等の力を高めることの大切さについて、スライドや事例を交えながら分かりやすくお話をいただきました。



卒業時移行支援会議 福祉系(生活介護/B型/就労移行等)・就労系(A型/企業)について

3学期は、県内支援学校の高等部3年生を対象に、卒業後の支援について相談する「移行支援会議」が開かれます。本校3年生は、福祉系の移行支援会議を1月22日(北区北福祉事務所管内)と25日(北区中央福祉事務所管内)、就労系を2月6日に予定しています。会議には生徒、保護者、進路先、相談支援事業所(サービス等利用計画の立案や福祉相談)、障害者就業・生活支援センター(就労を支援する機関)、行政(福祉事務所)、担任など、支援する人たちが集まります。生徒や保護者から「将来の生活についての希望」や「卒業後の生活で不安に思っていること」を話してもらい、そのことについてのアドバイスやどんな支援ができるかなどについて全員で確認します。



